

まほろば秦野通信

令和3年8月4日

タイトル	ミュージアムさくら塾 富士山宝永噴火の被害と復興 —秦野市域に残された史料を中心に—
When (いつ)	9月18日(土曜日) 午前10時から正午まで
Where (どこで)	はだの歴史博物館 第1企画展示室 (所在地: 秦野市堀山下380-3)
Who (だれが)	元・神奈川県立歴史博物館専門学芸員 <small>こみや まさあき</small> 古宮 雅明 氏
What (なにを)	宝永4年11月に発生した富士山の噴火では、噴出した火山灰により、県内でも大きな被害を受け、地域の大部分が砂で埋め尽くされ、生産・生活の基盤は完全に破壊されました。今回、秦野市域の史料をもとに被害と復興についてお話しいただきます。
How (どのように)	定員20名(申込先着順、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員の半数で実施) 定員を超えた場合、館内映像コーナーにてライブ配信講座に参加することができます。(15名まで) 申し込み: 9月1日から電話で受け付けます。 参加費: 200円
過去の実績	この事業は、平成18年度からスタートし、今年度はこれまでに2回開催しました。 第1回: 日本の近代化とスポーツの普及 第2回: 神奈川県自由民権運動
今後の取り組み	今年度は、秦野市及び周辺地域の歴史文化をテーマとした内容で、今後も引き続き多種多様なテーマで開催していきたいと思っております。
問い合わせ	はだの歴史博物館担当: 山口 克彦 電話: 0463(87)5542